

事業番号	11 11 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	リニア中央新幹線の建設促進と地域振興事業	部局	建設部 (企画振興部)	課・室	リニア整備推進局 (地域振興課)	
		実施期間	H24 ~	E-mail	linear-kyoku @ pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

- ・リニア中央新幹線は、JR東海が国の事業認可を受け、2027年（令和9年）以降の開業を目指し、東京・名古屋間の整備を進めている。（静岡工区の工期の見通しが立ったところで、改めて完了予定時期を変更。）
- ・長野県内におけるリニア中央新幹線の本線工事総距離（52.9km）のうち、96.9%にあたる51.3kmが工事契約済み。（令和5年11月末時点）
- ・県内のトンネル工事による建設発生土量は974万m<sup>3</sup>と見込まれており、令和5年11月時点で候補地として26箇所が決定済み。（※県内発生土量の約5割に相当）
- ・リニア中央新幹線の整備効果を伊那谷地域の地域振興につなげ、伊那谷全体の発展に資するため、「リニア中央新幹線を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」を平成25年8月に設置。
- ・伊那谷自治体会議において、「リニアバレー構想」（平成28年2月）、「リニアバレー構想実現プラン基本方針」（令和2年3月）を策定し、地元市町村や民間団体とともに、構想実現に向けた取組（景観形成、広域観光、広域二次交通、キャリア教育、企業誘致等）を進めている。
- ・リニア建設工事には、地元の理解・協力が不可欠であるため、県としては、引き続き、発生土の活用や環境対策等の課題解決に向け、地元へ寄り添った対応をJR東海に要請していく必要がある。

### 2 事業目的

- ・リニア中央新幹線の建設を推進する。
- ・リニア中央新幹線の整備効果を広く県内に波及させ、地域振興を図る。


### 3 事業目的を達成するための取組

①リニア中央新幹線を活用した地域振興の検討


- ・「リニアバレー構想」の実現に向けた官民連携による取組の推進
- ・「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」（座長：知事）の運営及び「リニアバレー構想実現プラン基本方針」に基づく取組の推進
- ・自治体職員や経済団体等の構成員を対象とした勉強会の開催
- ・沿線県（山梨・岐阜）との広域二次交通や広域観光の連携について共同研究

②リニア中央新幹線の建設促進及び建設工事に伴う調整

- ・リニア中央新幹線の建設を促進するため、沿線都府県や県内各団体と連携した活動を実施
- ・建設工事に伴う発生土の活用や環境対策等について、関係市町村やJR東海等との調整を実施



リニア中央新幹線による時間短縮効果  
品川ー長野駅：約45分  
長野駅ー名古屋：約25分（長野県推計）



リニア中央新幹線建設促進  
長野県協議会総会（R5.7.21）

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	勉強会・アドバイザー派遣・出前講座等の実施回数	回	4	6	↑	8	↑	10	△	地元地域におけるリニア中央新幹線整備への理解と整備に向けた取組を促進するため、前年度の実績値を25%上回る10回を目標とする	
②	指標なし										

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況					目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
3-1④	本州中央部広域交流圏の形成										

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	予算案		25,004		25,004	24,832	12.4
	要求		10,550		10,550	10,378	
R5年度	0	34,531	0	34,531	9,761	11.8	
R4年度	0	50,141	△ 1,371	48,770	9,644	42,173	13.2
予算要求からの 主な変更点	リニアを生かしたまちづくりを関係市町村との共通認識のもと連携して推進するため、リニア駅近郊の土地利用のランドデザインを策定する事業を追加。						

事業番号 11 11 01 **細事業一覧（令和6年度実施事業分）** 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	<b>リニア中央新幹線の建設促進と地域振興事業</b>	部局	建設部（企画振興部）	課・室	リニア整備推進局（地域振興課）
-----	-----------------------------	----	------------	-----	-----------------

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	
1	<b>中央新幹線活用地域振興事業費</b>	5,383 千円	5,439 千円	予算案 19,968 要求 5,514 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	リニア活用基本構想及びリニアバレー構想の実現に向けた取組の推進	直接	<p>・「リニアバレー構想」の実現に向け、伊那谷自治体会議・幹事会・担当課長会議による取組推進、自治体関係者・関係団体との勉強会を開催</p> <p>・地域の取組推進のため、アドバイザー派遣や進捗状況等を説明する出前講座等を実施</p> <p>・リニアを生かしたまちづくりを推進するため、リニア駅近郊の土地利用のランドデザインを策定</p> <p>・沿線県（山梨・岐阜）との広域二次交通や広域観光の連携について共同研究会の開催：伊那谷自治体会議、共同研究会（各1回）</p> <p>「リニア駅近郊ランドデザイン」の策定：土地利用の基本的考え方の整理や開発適地の抽出・選定等を記載</p>		

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	
2	<b>中央新幹線建設促進事業費</b>	4,402 千円	4,473 千円	予算案 5,036 要求 5,036 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	リニア中央新幹線の建設促進	負担金	<p>・リニア中央新幹線建設促進長野県協議会へ負担金を支出し、沿線都府県や県内各団体と連携を図り、整備推進と安全・環境対策についての要望活動を実施</p> <p>県協議会総会及び国等への要請活動の実施（例年7月頃）</p>		
2	リニア中央新幹線の建設に関する調整	直接	<p>・建設工事に伴う発生土の活用や環境対策等について、関係市町村やJR東海等との調整を実施</p> <p>関係市町村長とJR東海幹部との意見交換及び知事とJR東海社長とのトップ会談等を実施（各1回）</p>		